

令和5年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立田原小学校

1 児童の状況及び実態を踏まえた課題

| | |
|----|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を正しく読んだり、聞いたりすること。 ・書きたい内容を正しい表記で文章に書くこと。 ・平仮名を正しく読んだり、書いたりすること。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題文の内容を正しくとらえること。 ・文章題の立式をすること。 ・長さの概念を身に付けること。 |

2 各教科の具体的な授業改善

| | 特に育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫 |
|----|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を理解して聞く力 ・文章の内容を理解する力 ・正しく表記する力 ・本（文章）をすらすらと読む力 ・進んで読書に取り組む力 | <ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見て最後まで話を聞けるよう全授業を通して指導する。 ・文章の大まかな内容を理解するために音読を繰り返す。物語では登場人物の様子を捉えたり、あらすじをまとめたりする。説明的文章では、音読した後、大切な言葉を見付けたり、文章構成を考えたりする。 ・助詞（は、を、へ等）、促音（っ）、拗音（きゃ、きゅ、きょ等）、長音を正しく表記できるよう、日常的に指導したり、プリント練習を行ったりすることで、正しい表記の定着を図る。 ・週に一回以上、読み聞かせを行い、学級貸し出し用の本を常備し、読書に興味をもたせる。 ・学校図書館司書と協力し、国語や生活科と関連がある本を集団貸し出ししてもらい、いつでも手に取って読めるようにする。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題の内容を正しく捉える力 ・立式する力（足し算か引き算かを判断する力） ・長さの見当をつけ、測定の意味を理解して測る力 ・速く正確に計算する力 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を音読し、分かっていることに青丸をつけ、聞かれていることに赤線を引くなど、問題文を正確に読み取ることがを繰り返し行う。 ・電子黒板に教材を映したり、問題の場面を提示したりして、問題文の内容を具体的に理解させてから立式させる。また、問題文の特徴（合わせていくつ、残りはいくつ、違いはいくつ等）にも気付かせるために、ブロックなどを活用して、考えさせる。 ・長さ、広さ、かさ等、量感を育てる学習では、テープ、布、コイン、粘土等の具体物を用いて体感を通して理解できる学習活動を行う。 ・計算カード、プリント学習など毎日時間を決めて繰り返し学習させる。 |